

明治の福祉

こもれび

明治地区の人口(12月1日)世帯数 14,036 人口 32,455

発行事務局 藤沢市辻堂新町1-11-23 電話 0466-34-3444
明治地区社会福祉協議会
明治市民センター内

おめでとう100歳祝

- ❁ 長谷川絹江さん
大正12年8月生まれ
- ❁ 浅沼イチヨさん
大正12年9月生まれ
- ❁ 市原米子さん
大正12年10月生まれ
- ❁ 天野茂子さん
大正12年10月生まれ
- ❁ 小林キサさん
大正12年10月生まれ
- ❁ 千葉美代子さん
大正12年10月生まれ
- ❁ 西村シズ子さん
大正12年11月生まれ

敬老行事 お祝い品をお届け



90歳の方にはカステラとお茶を、83歳以上の方全員にはお茶をお届けしました。

事業予算の大半を占める敬老行事は、今年度対象となる83歳以上の方と90歳の方に、磯崎会長のメッセージを添えて記念品を贈らせていただきました。

「ご長寿おめでとうございます。地域のため、ご家族のために、長年ご尽力されましたことに心より敬服いたしております。この地域が着実に発展を続けてまいりましたのは、皆様方の英知とたゆまぬご努力の賜物と感謝申し上げます。

皆様に祝福と謝意をお伝えするために、ささやかではございますがお祝いの品を同封させていただきました。祈念申し上げます。」

素敵な歌声

秋のお楽しみ会

暑かった日々が去り、しつかりと秋を感じる11月15日(金)明治市民センター4階ホールで75歳以上のひとりの暮らしの方をお招きして「お楽しみ会」を行いました。当日は午前と午後に分けて実施、合計89人の参加者でした。

午前は辻堂保育園の園児さんの歌や踊りと、東京などでライブ活動中の女性ミュージシャン Maminno さんの素敵なピアノ弾き語り、午後はオカリナグループ「パプリーフ」の皆さんの演奏と午前と同様、Maminno さんの昭和の歌謡からポップスまでの歌声を堪能しました。

会場中に笑顔があふれ、一緒に歌ったり、聞き入って涙ぐむ方がいたり、とても和やかな時間を過ごせたようです。「来て良かった」「癒されました」のお声を聞き本当にうれしく思いました。



出演の Maminno (マミノ)さんとオカリナグループパプリーフの皆さん



視察研修会 **盲導犬を学ぶ** ～富士ハーネス～ 9月20日(金)

「富士ハーネス」「いやしの里根場(ねんば)」訪問

9月20日(金)朝8時30分晴天の中30人に乗せたバスは明治市民センターを出発し、静岡県富士宮に向かいました。

最初の研修先は「盲導犬の里 富士ハーネス」です。公益財団法人日本盲導犬協会の訓練センターのひとつであり、盲導犬候補の犬が生まれる拠点、中部地方の視覚障がい者支援拠点、さらに盲導犬や視覚障害について学べる拠点として2006年10月に開設されました。

盲導犬のデモンストレーションでは、重要な3つの役割、①段差を教える②曲がり角を教える③障害物を教えるを見学。盲導犬ユーザー(盲導犬を利用する人は、盲導犬の胴体につけたハーネスから伝わるこの3つの情報を感じ取り、頭の中にある地図と自分が今いる場所を照らし合わせながら、目的地に向かって快適に歩くことができると説明を受けました。

盲導犬ユーザーに出会ったときに心がけることは、盲導犬に話しかけたり、目をじっと見つめたり、触ったり、気を引く行為はNG。食べ物や水は与えないこと。何か気になることがあればユーザーに声がけをし「なにかお手伝いしましょうか?」の一言が様々なバリアの解消につながるそうです。難しく考えずにまずは気軽にとの説明でした。

次の研修先は「西湖いやしの里根場」です。西湖の西北に位置する旧足和田村は「かぶと造り」の薫ひき民家が建ち並び集落でしたが、1966年9月の台風でほとんどが消滅しました。

40年の歳月を経て、昔懐かしい薫ひき屋根群が蘇り、地域の歴史や文化、自然環境を舞台とした「西湖いやしの里根場」が誕生しました。砂防資料館には災害時の映像も記録されていました。



昼食は、山梨名物「ほうとう」をいただき、富士山をあとに明治市民センターに帰着しました。

「ふれあいレク」新たな試み

11月9日(土) 明治市民センター4階ホール

ふれあいレクリエーションは従来、知的障がいのある子どもと家族のための夏休みのバスハイクでした。参加者の大幅減と猛暑対策として、今年は時期を変え室内でのレクを試行することにしました。

会場には、輪投げ、魚釣り、的当てやポッチャなど、ゲームと軽スポーツ7種を準備、パラスポーツに関心のある人にも呼びかけを行いました。

室内なので天気に左右されないメリットもある企画です。当日は天気に恵まれ、事前に申し込まれた人のほかに、当日参加のひとも加わり、出足は早く上々のスタートでした。

初めはうまくいかなかったゲームや軽スポーツも、回数を重ねることに成功するなど、参加した19人の皆さんには成功や満足感を味わっていただけただけはまずです。

社協のふれあいレク担当は、今回の試行をもとに、次回以降のふれあいレクについて、また検討してまいります。



モルック



ポッチャ

福祉推進会議・映画会

「ナミヤ雑貨店の奇蹟」を上映

11月22日(金) 明治市民センター4階ホール

直木賞作家・東野圭吾のヒット小説を映画化した2017年の作品を選び、地域回覧で来場を呼びかけました。当日の参加者は80人でした。

警察に目を付けられているような少女危なげな3人の青年が、かつて雑貨店だった空き家に侵入し夜を過ごすことに。すると、閉ざされている店の郵便受けに、32年前の「悩み相談」の手紙が落とし入れられる。

やがて時空を超えた過去と現在が繋がっていく世界に物語は広がってゆく。

2時間の長編で、難解な部分もあり、また雑貨店の店主を演じた西田敏行さんがこの映画会のすこし前に亡くなったこともあって、感動と不思議な思いが残った映画会でした。



©2017「ナミヤ雑貨店の軌跡」製作委員会

福祉バザー開催!

10月26日(土)27日(日)の二日間にわたり明治地区の地域団体・サークル・福祉施設・病院などが参加し明治地区ふるさとまつりが開催されました。今年度は小学校の運動会と重なる日程となったため参加者はやや少なめでした。

社協は、一日目は体育室で、二日目は外の模擬店会場でバザー品の販売を行いました。このバザー品は地域の皆さんから寄付された品々です。

地域の皆様のご協力に感謝



今年度も未使用の「衣類」「石鹸・洗剤」「タオル・シーツ」「文房具」などに限らせていただきました。品物1276点ほどが集まり、二日間の売り上げは約8万3000円でした。バザーの売り上げは地域福祉のために大切にに使わせていただきます。



フードドライブも実施



「むすびて」センター長に能勢敏之氏

4月に行われた、ボランティアセンター「むすびて」の総会で、能勢敏之氏が新センター長に就任しました。

前任の小泉紀子さんは、平成24年の「むすびて」発足から長期に渡りセンター長職を務められました。大変ご苦労様でした。

笑顔と歓声に包まれた “わくわくランド”

子育て支援事業として1130日(土)に開催された「明治発！子育て応援メッセ」では、子育てに関する団体・企業が日ごろの活動の紹介を行いました。

今年も社協は体育室でパネル展示と“わくわくランド”で参加しました。ふわふわドーム、ボールプール、トンネル、薄い板を高く積んで遊ぶ“積みKING”に、会場となった体育館中に歓声と笑顔が溢れていました。10時から15時までの間、多くの親子連れで賑わいました。

今回は土曜開催ということもありお父さんの参加も多く、『初めて参加しました。子どもも思い切り遊べて楽しめました。』『このようなイベントをまた開催してください。』といった感想をいただきました。メッセ全体で200組を超える親子の参加でした。



大人気のふわふわドーム



積みKING



活動の紹介パネル

社協これからの事業

- ❖ 認知症サポーター養成講座 2025年1月19日(日)
- ❖ 福祉講演会 2025年3月
- ❖ 春のお楽しみ会 2025年3月7日(金)
- ❖ 映画会 2025年3月26日(水)
『ロラックスおじさんの秘密の種』

募金結果

赤十字活動資金
達成額 1,275,757 円

赤い羽根
達成額 1,487,599 円

自治町内会のご協力を
いただいております。

編集後記

明けておめでとうございませう。

題字「こもれび」の背景が前号から変わっているのにお気づきでしょうか。緑やこもれびで、少しでも安らぎを感じとっていただくと嬉しいですね。

東欧、中東では戦火が続いており、政変も勃発するなど騒乱のさなかと云えます。一方、国内では相変わらず高齢者の敵、詐欺が多発し感染症はおさまったとは言えません。

年頭にあたり、今年も明治地区の安全と安心を願っております。
(K・S)

お詫びと訂正

前号の「こもれび」一面の、社協役員のお名前を間違えました。監事の石澤仁子さんは、正しくは、監事 立石泰子さんでした。お詫びして訂正させていただきます。

「社協だより」編集委員長